

図書館開館30周年記念活動団体紹介（ミニギャラリー展示）



図書館のサンタクロース



おとうさん・おじいちゃんのおはなし会について

活動分野	男性によるおはなし会活動、子どもの健全育成、社会教育
設立年	2007年
活動目的	おはなし会を通して、子どもたちや様々な年齢の方々に絵本や紙芝居の楽しさを伝えている。高校生とのコラボおはなし会など、世代を交えた活動の実施。
活動内容	- 図書館での季節のおはなし会（年2回程度） - 市内の介護施設や老人ホーム等でおはなし会の実施
問い合わせ先	伊勢原市立図書館 電話：0463-92-3500



『おとうさん・おじいちゃんのおはなし会』は、平成19年度（平成20年2月2日）に図書館で男性向けに実施した「おとうさん・おじいちゃんの本読み聞かせ講座」というボランティア育成講座を受講された方によって生まれた。（結成時当時30代～70代）男性だけのおはなしボランティアです。事務局は図書館になり、図書館で行う事業の中で、絵本や紙芝居の読み聞かせを行いました。特に、「おとうさん・おじいちゃんクリスマス会」では、6名のサンタの登場（その中にはプレゼント持った本物も!?）に、いつも子どもたちが大喜びでした。最近では、市内の病院や施設へ赴き、読み聞かせサービスを行っているメンバーの方、また、ご自分で紙芝居を作成し、コンクールで賞をとられたメンバーの方もおられるなど、皆さんでもいろいろな活動を行っています。市内の高校生とのコラボ事業では、孫世代、お父さん世代、おじいちゃん世代の共同事業にもなりました。

会の発足の礎にもなった講座の講師大坪みつみ先生（日本子どもの本研究会会員）からは、「子どもへの読み聞かせに大切なのは、良い本を選ぶこと、本は趣向をこらさずそのままするに読むこと、そして読み手になるということは、エゴを捨て、純粋に本を楽しんでもらうことである」と教えを授けました。

読み聞かせボランティアというと、なぜか女性の方が多い印象があります。でも、子どもは男性に読んでもらうことも大好きです。なかなか時間がないけど、休みの日や年に1回くらいなら参加できるかも、そんな男性がおられたら、ぜひ図書館までご一顧ください。

